

グリホサートイソプロピルアミン塩液剤 クサトリキング	取扱メーカー： ホクサン 原体メーカー： 三井アグロ
成分： グリホサートイソプロピルアミン塩〔アミノ酸系〕…41.0%	性状： 淡黄色澄清水溶性液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 非選択性、吸収移行型の茎葉処理除草剤である。
- 雑草の生育旺盛期の茎葉処理で一年生から多年生雑草、かん木類まで幅広い雑草を枯らす。
- 土壌表面に落下すると、速やかに土壌粒子に強く吸着されて不活性化し、植物への活性が消失する。また、土壌中の微生物により、水、炭酸ガス、リン酸、アミノ酸など無害な物質に分解され、有用植物の根部吸収害を生じる心配がなく、永年の連年使用による土壌中での蓄積の心配もない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 散布適期は雑草が生え揃った生育盛期～生育旺盛期である。
- 薬液が茎葉全体にかかるように散布する。
- 土壌に落下すると不活性化するので雑草発生前の散布では効果がない。
- 確実な効果のためには適正な茎葉面積が必要である。散布前に地上部を刈り払わない。
- 散布後薬剤が吸収され、効果が完成するまでに7～14日を要する。この期間内に雑草を刈り払ったり、再散布や耕起したりしない。
- 散布後6時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を見極めてから散布する。
- 希釈に使用する水にはきれいな水を使用し泥などで濁った水は使わない。

- 展着剤加用の必要はない。

●スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように注意して散布する。

●グリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物毎の総使用回数の範囲内で使用する。

【薬効・薬害等の注意】

- 特に生育期畦間散布に使用する場合には作物にかからないように十分注意する。
- 調製及び保管に際しては合成樹脂の内装のない鋼鉄製（ステンレスを除く）の容器類は使用しない。なお、散布液を調製した容器及び散布器具は使用後十分に水洗いする。
- 適用作物（全般）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（有用作物全般）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

- 水産動物に影響を及ぼすので、養魚田での使用はさける。



【適用と使用方法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
果 樹 類 (かんきつ、 パイナップル を除く)	—	一年生雑草	収穫 7 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	250 ～ 500 ml		3 回 以内	雑草 茎葉 散布	3 回以内	
		多年生雑草		500 ～ 1000 ml					
かんきつ		一年生雑草		250 ～ 500 ml				5 回以内	
		多年生雑草		500 ～ 1000 ml					
豆 類 (種実、但し、 だ い ず、 らっかせい を除く)		一年生雑草	は種 7 日前まで (雑草生育期)	250 ～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	2 回 以内		2 回以内	
だ い ず			は種後出芽前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下) 畦間処理：雑草 生育期 (草丈 30 cm 以下) 但し、収穫前日 まで					4 回以内	
			は種 7 日前まで (雑草生育期)					1 回	
			えだめめ					耕起前又は は種前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	250 ～ 1000 ml
小 麦		一年生雑草	250 ～ 500 ml	100 ℓ		3 回以内			
		多年生雑草	500 ～ 1000 ml						
		麦 類 (小麦を除く)	一年生雑草	耕起 7 日前まで (雑草生育期)	250 ～ 500 ml	25 ～ 100 ℓ		1 回	2 回以内
は種後出芽前 (雑草生育期)				100 ℓ		1 回			
だいこん		耕起又はは種 7 日前まで (雑草生育期)		100 ℓ		2 回以内			
はつかだいこん		耕起又は定植 7 日前まで (雑草生育期)		通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ					10 回以内 (1 年間に 2 回以内)
キャベツ									
とうがらし類 にんじん ピーマン									
薬用にんじん									

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	グリホサートを含む 農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量					
ね　ぎ たまねぎ	—	一年生雑草	耕起又は定植 7日前まで (雑草生育期)	250～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	3回 以内	雑草 茎葉 散布	3回以内		
野　菜　類 (えだまめ、 キャベツ、 はつかだいこん、 だいこん、 とうからし類、 にんじん、 ピーマン、 ねぎ、たまねぎ、 アスパラガス、 オリーブ(葉)、 きゅうり、 しゃくやく(薬用)、 たらのぎ、 トマト、なす、 びわ (葉)、 ほうれんそう、 レタス、 薬用にんじん を除く)			定植後畦間処理 但し、収穫30日 前まで (雑草生育期)						1回	
			耕起又は定植 7日前まで (雑草生育期)			100 ℓ		2回 以内		
										耕起 20～10日前 (雑草生育期)
										耕起20～10日前 (雑草生育期)
			水田作物 (水稲を除く)、 移植水稲	耕起直後～出芽前 (雑草生育期) (乾田耕起栽培)	250～ 1000 ml	25～ 50 ℓ		2回 以内		2回
直播水稲			は種30日前～ 出芽前 (雑草生育期) (乾田不耕起栽培)	250～ 1000 ml	25～ 50 ℓ					
			多年生雑草	500 ml	50 ℓ					
			一年生雑草	500 ml	50 ℓ					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草	雑草生育期	250～ 500 ml	25～ 100 ℓ	1 回	雑草 茎葉 散布	1 回
		多年生雑草		500～ 1000 ml				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	収穫 14 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	250～ 500 ml	通常散布 100 ℓ	2 回 以内		3 回以内
		多年生雑草		500～ 1000 ml	少量散布 25 ℓ			
水田作物、 畑 作 物 (休耕田)	休耕田	一年生雑草	雑草生育期 (草丈 50 cm 以下)	250～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	2 回 以内		
		多年生雑草	更新・造成の 10 日以前 (雑草生育期)		500～ 1000 ml			
牧 草	牧野、 草地 (更新・造成)	一年生及び 多年生雑草	は種 10 日前～ は種当日 (耕起整地後： 雑草発生摘期)	250～ 500 ml	少量散布 25～50 ℓ			
		樹 木 等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、 運動場、宅地、 鉄道、のり面等	一年生雑草	雑草生育期	500 ml	通常散布 100 ℓ 少量散布 25 ℓ	3 回 以内
多年生雑草		1000 ml						
		スギナ	生育盛期	2000 ml	少量散布 25～50 ℓ			

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、鉄道、のり面等	落葉雑かん木	5～ 10 月	原液 又は 2 倍液	1 ml / カ所 (樹径カ所数) (10 cm 以下 2～3, 10～20 cm 4～8, 20 cm 以上 10)	—	立木注入処理	—
		雑かん木	伐採直後		切り口全体に十分量を塗布		植栽地を除く樹木等の周辺地に切株塗布処理	
林 木 畑作物	林地、放置竹林、畑地	竹類	夏～秋期	原液	5～15 ml / 本		竹桿注入処理	